朝日寺だより

庄田山　朝　日　寺
発行所：〒701－42　邑久郡邑久町庄田１２０７番地
電話（08692）５－０７３９

おぼん・・・みつめましょう　私たちの生命・真心・いま

人はどこから生まれてきて、どこへ行くのでしょうか。

私たちは、父母を直接の「縁」として生まれましたが、その父母もまた各々の父母を「縁」として生まれてきました。この不思議な「縁」（つながり）を深く考え、この〝つながり〟即ち、祖先をはじめ縁ある方々へ感謝と報恩の誠を捧げる行事が「おぼん」です。

昔から、出会ったものは必ず別れるのが定めだとして、『会者定離』という言葉があります。しかし、「おぼん」こそは、まさに『離者定会』とも言える心やさしいならわしなのです。別れて遠くへ旅立った御霊が、わが家へもどって、子や孫に出会うとは、まことにほのぼのとしたものがあります。

「おぼん」とは、もともと〝ウランバナ〟からきた言葉で、『逆さまに転倒した苦しい状態を、まっすぐになおす。』という意味になります。

今までの自分本位の発想を、百八十度転換し、その生き方を改めて考え、いろいろな恩に感謝することを教えているのです。

おぼんには・・・

- ●人の心の〝あたたかさ〟を今一度ふり返ってみましょう。
- ●出会いを大切にし、何ごとも丁寧にしましょう。
- ●欲張らず自分のできることで、まわりにご恩返しをしましょう。

一年に一度、夏にめぐってくる「おぼん」は、日本人の心をなつかしさでいろどり、何とも言えぬすがすがしさで包んでくれます。いつまでも、いつまでも、このうるわしい行事を続けていきたいものです。

ウランバナ（インド）
↓
盂蘭盆（うらぼん）（中国）
↓
お　盆（日本）